

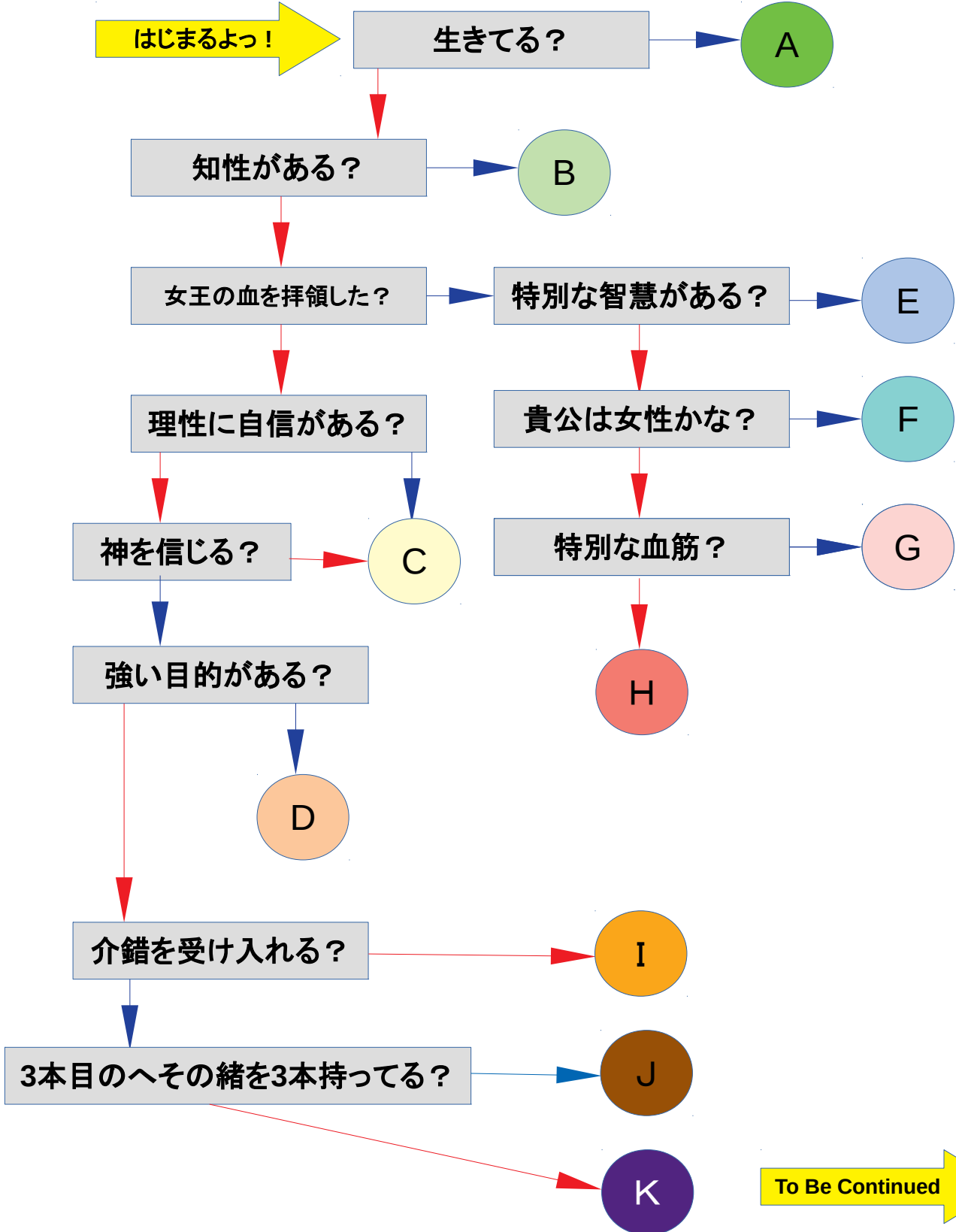
# ふらふらとボーン

Bloodborne



→ はい  
→ いいえ

はじまるよっ!



To Be Continued

# 『Bloodborne』拝領マッチングチャート 結果発表！



A	<p>既に死んでいる貴公は狩人にもなれなければ獣化もしない。でも血に潜む穢れが、貴公の遺体を勝手に動かしてヒトを襲っちゃうかも？ ヤーナムの下水や禁域の森にいる、動く死体みたいだね。こわーい！</p>
B	<p>貴公がヒトかどうかは知らないけど、知性無き人間は動物と同じ。ネズミや豚がそうであるように、頭がマヒした貴公の身体もおつきくなるよ。悪夢で斧を振るったり、岩を投げつけちゃえ。だけど意外とこの「知性」というのは、進化を邪魔するものだったりするんだって。人から上位者に至ったロマは白痴だったんだもん。案外、獣以上の何かに進化してる動物だっているかも？</p>
C	<p>血の力に負けた患者、道半ばで折れた狩人、どちらにしろその末路は哀れな獣化者だよ。たべないでください！</p> <p>異邦人ギルバート最期の言葉は神への呼びかけだったみたい。獣化のトリガーは「祈り」。強い信仰を持つ聖職者であれば、それはそれは恐ろしい獣へと変わるんだろうなあ。</p>
D	<p>祈りが獣を作り、だけど祈る神を持たない狩人の行末は悪夢。そんなに狩りがしたきや、永遠に血に酔い続けてればいいじゃない。</p> <p>そうはなりたくないのなら、頑張って「虫」でも潰しちゃおう。それはきっと永遠に終わらない戦い。だけど夜道の先に使命があるなら、狩人は折れない。</p>
E	<p>拝領したのが女王の血でないなら、もしかして上位者の血をそのまま入れちゃった？ じゃあ終わりだね。それは人に宿るものじゃないんだから。</p> <p>だけでもしも拝領したのが眷属の血なら、ワンチャンあるかも？ 貴公もぶよぶよのキノコ人間になっちゃおうよ！</p>
F	<p>へーきへーき。上位者の血が人に宿らなくても、貴公に啓蒙さえあれば頭はブクブクと膨れて、湿った音と、ほんの少しの神秘に見えるかもしれないね。</p> <p>啓蒙によっては、眷属にだってなれるかも？ 獣と眷属が対を成すなら、眷属もまた祈りが産むのかな？ だけどそこで終わり。血の苗床になれるのは、赤子を宿せる女性だけ。</p>
G	<p>脳液を宿したのは全て女性。それも調整を受けた「血の聖女」だけだったみたい。だけど所詮は模造品。聖女たちは、頭の無い赤子「失敗作」の母にしかなれなかったんだよ。</p> <p>でももしも祈りが血の変態と深く結びつくなら、上位者の血が啓蒙を持つ聖女と結びつくことで、眷属とはいえ上位者へ至る目もあるかもしれない。白痴の蜘蛛はそうして産まれたのかな？</p>
H	<p>貴公が上位者の赤子を宿したら、やがて進化が始まるよ！ へその緒がヒトに宿らぬ血をヒトに宿すなら、赤子自身を胎に宿す母親が進化できない理由はないもの。ようこそ母なる上位者へ。</p> <p>偽ヨセフカと娼婦は同じ血族なのに、方や瞳を蠢かせ、方や早産に終わっちゃった。これが啓蒙の差なら、だからこそ血の女王は穢れを囁くのかも。「穢れ」は使用者に啓蒙を与えるものね。</p>
I	<p>やったね、狩人ちゃん！ ここまでの狩りで蓄えた血の遺志を全てゲールマンへ献上した貴公は無事に夜明けを迎えたよ。もう狩人でもなければ獣化もしない。血の呪いから解放された貴公は、そのまま穏やかな日常へおかえりなさい。それとも全て忘れてしまったのなら、もう一度診療所を訪ねてもいいかも？ 青ざめた血を求めて。</p>
J	<p>やったね、狩人ちゃん！ 最初の狩人を倒した貴公は、どこからか現れた月の魔物の抱擁を受けて、「次のゲールマン」として狩人たちの助言者となる栄誉を授かったよ！ むごーい！</p> <p>NIGHTMARE（月の魔物）は名の通り悪夢の上位者。感応する精神がヒトに夢を見せる限り、獣狩りの夜は終わらないみたい。</p>
K	<p>やったね、赤ちゃん！ 上位者狩りを成し遂げた貴公は、3本の3本目によって多くの啓蒙と瞳を宿し、そして魔物の血を浴びちゃった。なりそこないの瞳（脳液）をより集めて出来た苗床を上位者の血が刺激するように、真の瞳と結びついた血は狩人を赤子の上位者へと押し上げたよ。赤子の力を借りた母としての進化じゃない、赤子そのものへの進化に。</p>